YNU 横浜国立大学
YOKOHAMA National University

Press Release
平成 24 年 4 月 12 日

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-1

宇都宮大学と横浜国立大学で情報戦略協定の調印式を実施
『Ｙ＆Ｕ ICT Strategy Partnership』を構築
～大学情報の堅持と持続的発展を目的とした画期的連携～

●国立大学法人宇都宮大学と国立大学法人横浜国立大学は，平成２４年４月１６日（月）、大学情報戦略の協調に関する協定の調印式を実施します。

●両大学は平成２１年１０月から「両大学間における相互連携体制の構築」に向けた検討を行っており，平成２２年３月には双方の大学に実験用のサーバを導入，ネットワークを通じた相互連係の実証実験を実施しています。こうした経緯を踏まえ，この度大学情報戦略の持続的発展を協調して推進するための協定を締結することとなりました。

●情報に関わる事故・事件の発生が年々増加しており、また昨年の東日本大震災のような自然災害も想定されている中、宇都宮大学と横浜国立大学は３年ほど前から危機意識を共有しており、他大学に先駆けて連携を模索、この程、正式に協定を締結することになりました。

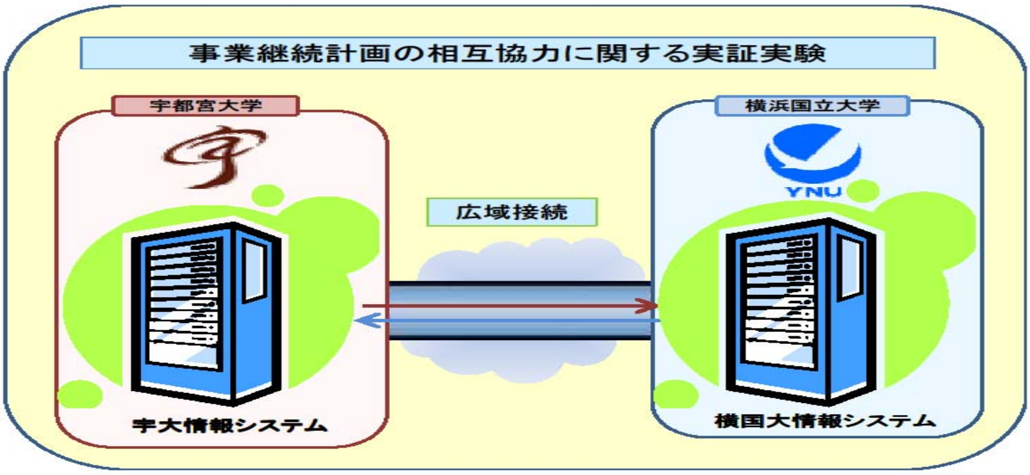
■ 大学情報戦略の協調戦略に関する協定調印式の概要

日　時：平成２４年４月１６日（月）１５：００～１５：４５
式　場：横浜国立大学事務局学長室
出席者：宇都宮大学　学長，理事，総合メディア基盤センター長
　　　　横浜国立大学　学長，理事，副学長，情報基盤センター長

■ 協定による実施事項

・大学情報戦略に関する相互協力
・大学情報資産の事業継続計画に関する相互協力
・大学情報セキュリティマネジメントに関する相互協力
・その他，情報戦略に関する事項で合意した事項

■ 実証実験の概要図



添付の説明資料をご参照ください。

本件についての問合せ先
横浜国立大学 図書館・情報部 情報企画課長　仁村俊明
Tel:045-339-4470, Fax:045-339-4479, e-mail:joho.kacho@ynu.ac.jp

説明資料

国立大学法人宇都宮大学と国立大学法人横浜国立大学における
大学情報戦略の協調に関する協定の締結について

国立大学法人宇都宮大学（以下「宇都宮大学」）と国立大学法人横浜国立大学（以下「横浜国立大学」）は，平成２１年１０月から「両大学間における大学情報資産の連係保護体制の構築」に向けた検討を積み重ねてきました。また，平成２２年３月には双方の大学に実験用のサーバを導入し，ネットワークを通した相互連係の実証実験を実施しています。

このような経緯を踏まえ，この度，より高次の大学情報戦略の持続的発展を協調して推進するための協定を締結することとなりました。

今後は，

(1) 大学情報戦略に関する相互協力

大学の教育・研究，管理運営の基盤環境としてのＩＴの戦略的活用について共通理解を深め，ＩＴを活用した教育，セキュリティ対策，学生サービスの取り組み等の情報を相互に情報交換いたします。

(2) 大学情報資産の保護及び事業継続計画に関する相互協力

高度情報化社会において，情報資産は大学にとって最も重要な資産であり，情報資産が守らなければ，学術研究・教育活動の停滞や，社会的信頼の喪失につながる可能性があります。そこで，これらの大学情報資産の保護や事業継続計画に関し，相互に協力いたします。

(3) 大学情報セキュリティマネジメントに関する相互協力

情報管理の現状や問題点，情報セキュリティ対策，情報セキュリティポリシーの実現や徹底，学内研修・指導，技術的対策などの取り組みについて相互に協力いたします。

(4) その他，情報戦略に関する事項で合意した事項

について実施してまいります。

なお，本協定による活動を円滑に進めるため，今後，宇都宮大学総合メディア基盤センターと横浜国立大学情報基盤センターが連携し，運営体制を確立いたします。宇都宮大学総合メディア基盤センターは，情報セキュリティマネジメントシステムに関する国際標準規格 ISO27001 の認証を５年以上維持し続けている実績があり，一方，横浜国立大学情報基盤センターは，大学情報管理及び活用機能を開発してきた実績ならびに情報戦略室（CIO室）を早期に設置し計画策定を推進している実績があります。また両大学のキャンパスは 100km 以上離れており，情報関連機能を相互に補う災害対策を保持することにより事業継続性の改善を図ることができるなど協調による様々な利点があり，それらを戦略的にかつ能動的に具体化して行きます。